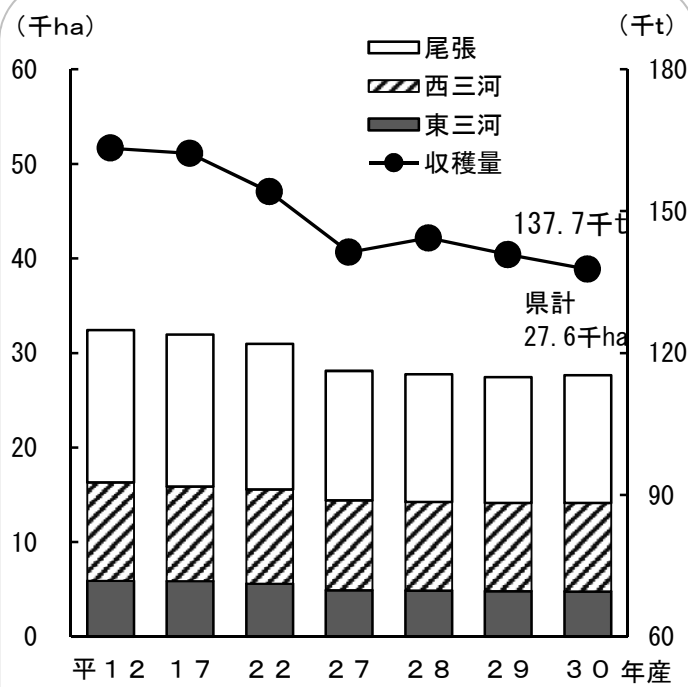


稲(米)・麦・大豆

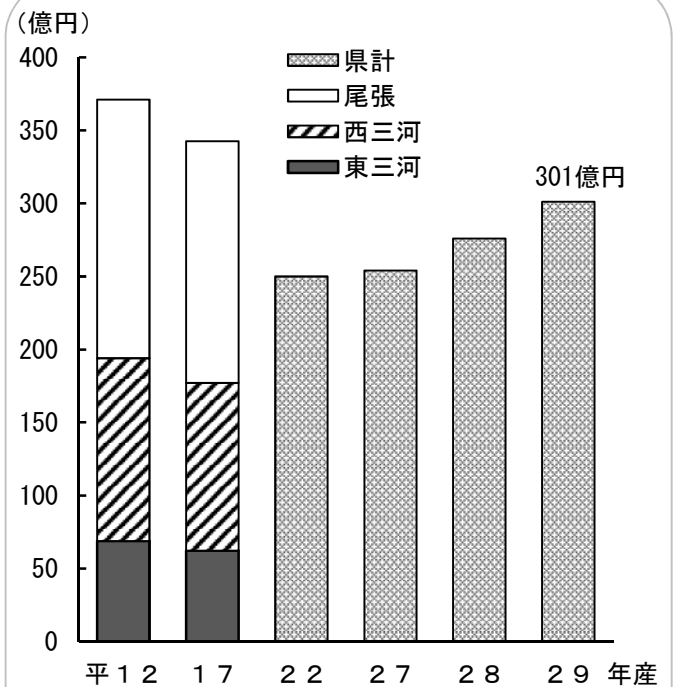
《稲作付面積と収穫量の推移》



(出典：作物統計)

稲の作付面積、収穫量とも減少傾向である。
10aあたり収量は489kgで、作況指数は98であった。

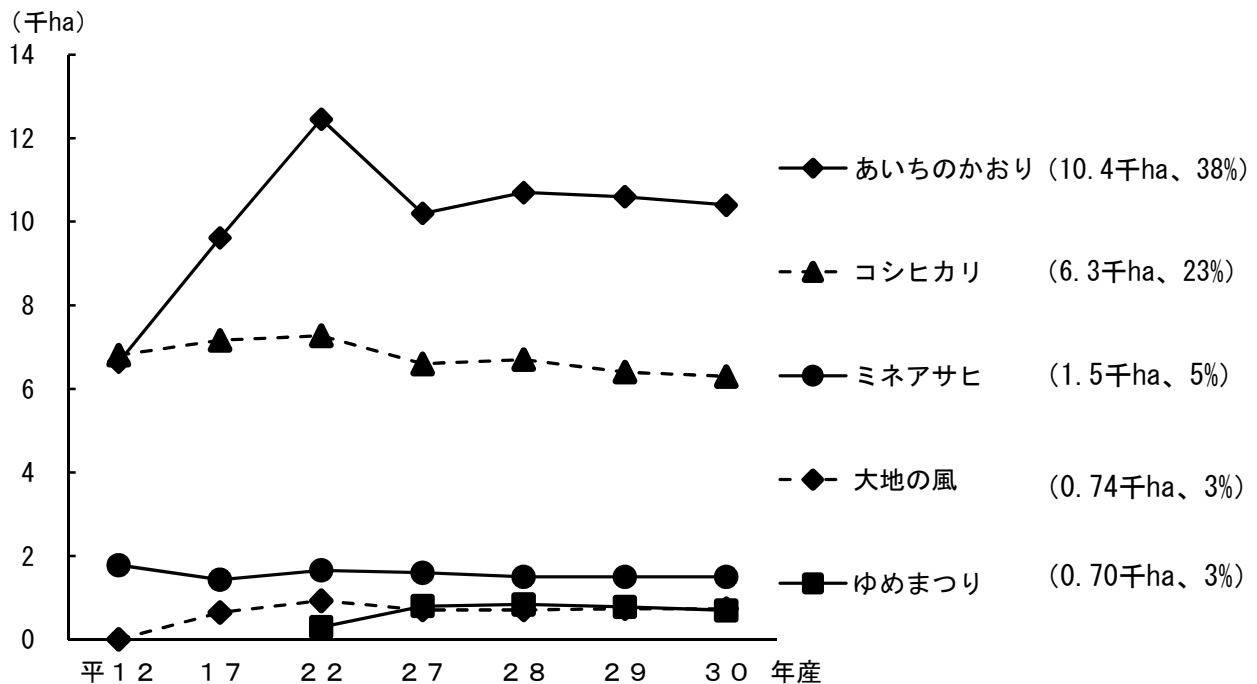
《米産出額の推移》



(出典：生産農業所得統計)

直近3カ年は増加傾向である。

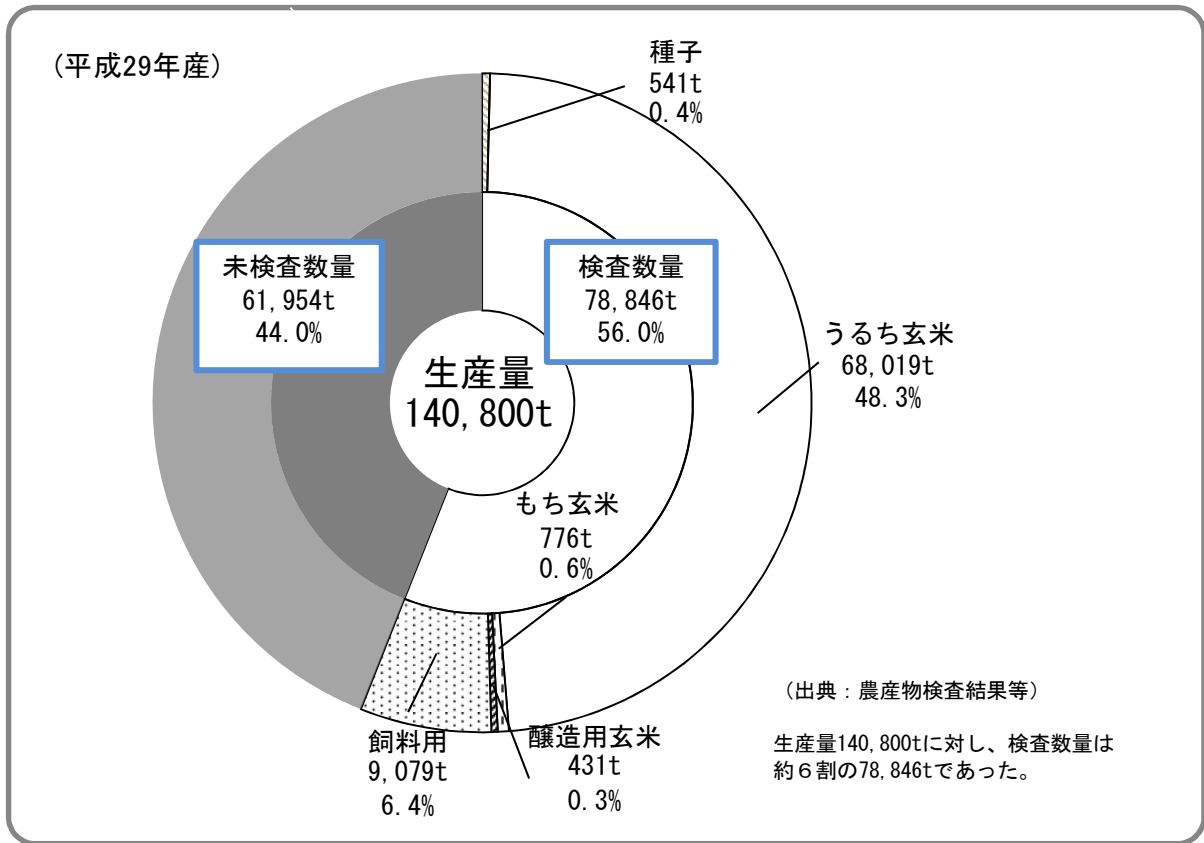
《稲主要品種の作付面積の推移》



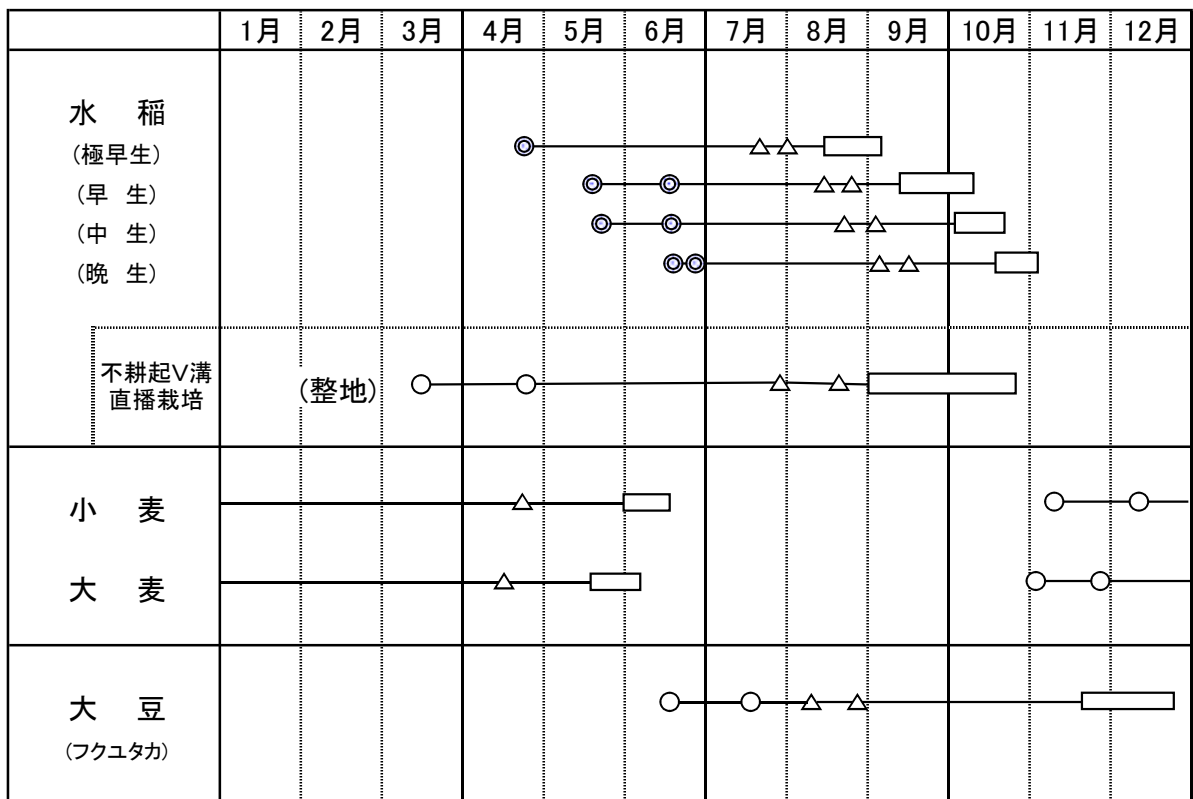
(出典：園芸農産課調べ等)

県内で500ha以上の作付がある品種の面積（推定値）を示した。
近年は主要品種の作付面積・割合に大きな変化は見られない。

《愛知県産米の農産物検査数量》

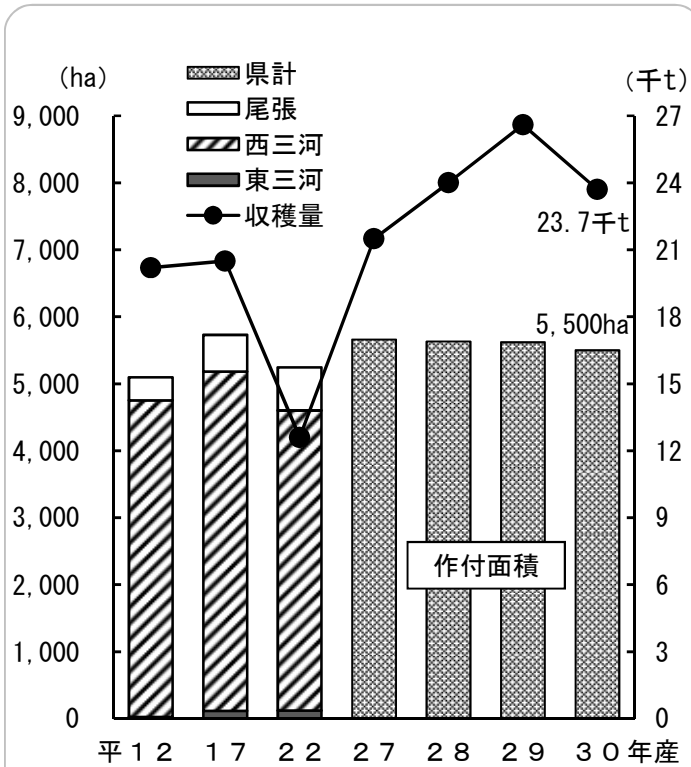


《稲・麦・大豆の作付体系》



凡例： ○ — ◎ — △ — △ — □
 播種 移植 出穂/開花 収穫

《麦類作付面積と収穫量の推移》



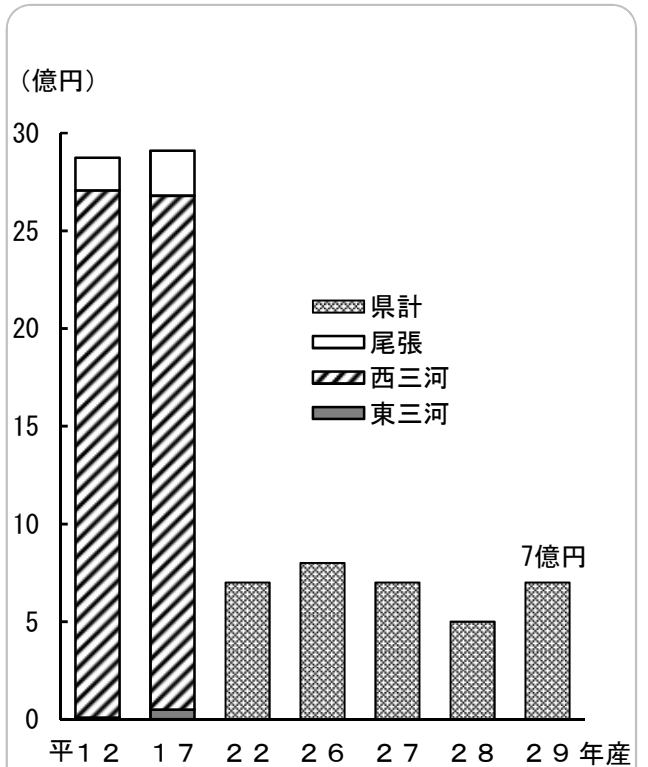
(出典：作物統計)

近年の作付面積は5,500ha前後。

このうち、小麦が5,400ha程度を占める。

収穫量は、小麦品種「きぬあかり」が導入された平成24年産以降増加し、平成29年産は過去最高となった。また、平成30年産の単位面積あたり収穫量は434kg/10aで全国1位であった。

《麦類産出額の推移》

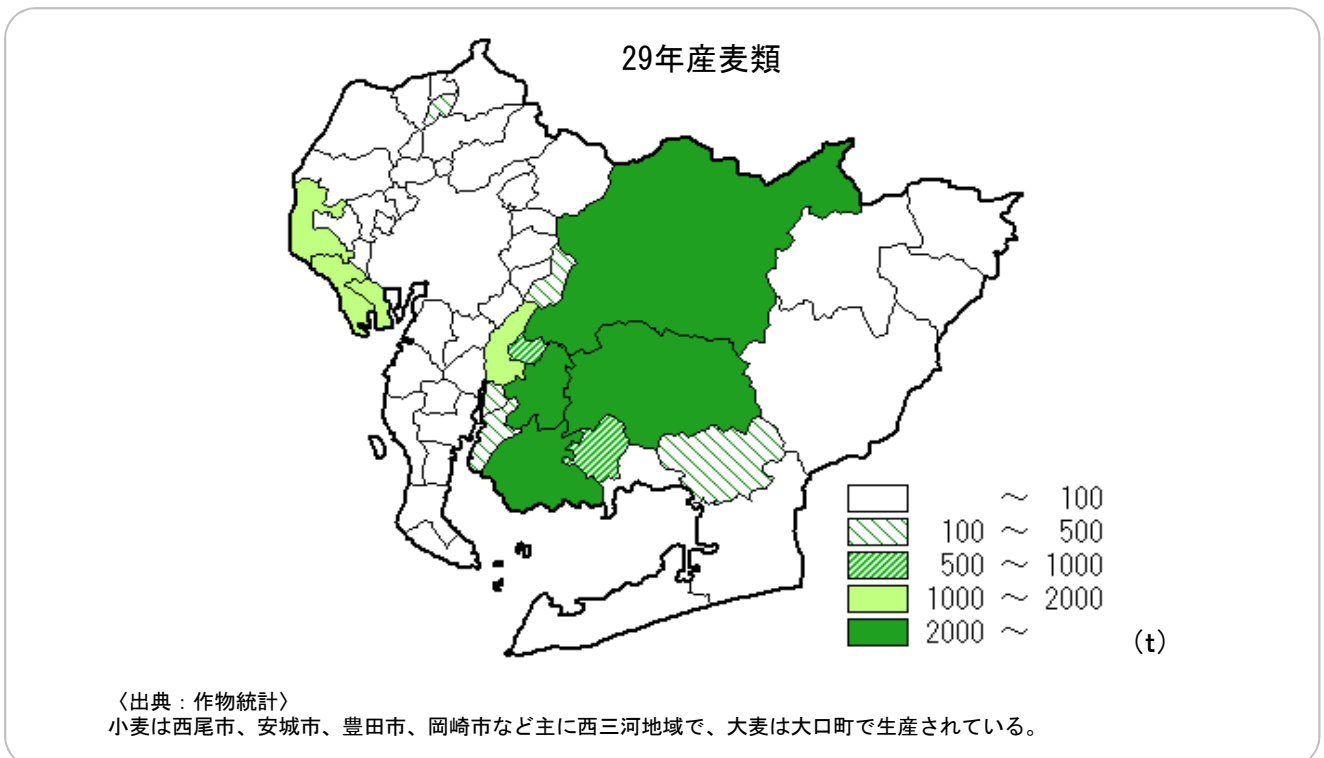


(出典：生産農業所得統計)

平成19年産以降、経営所得安定対策等の助成金額が産出額に算入されないことになった。

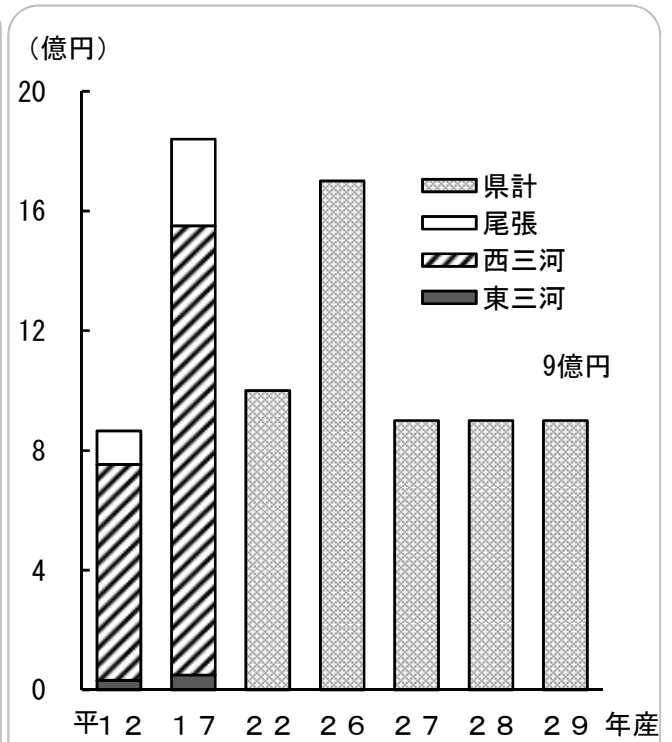
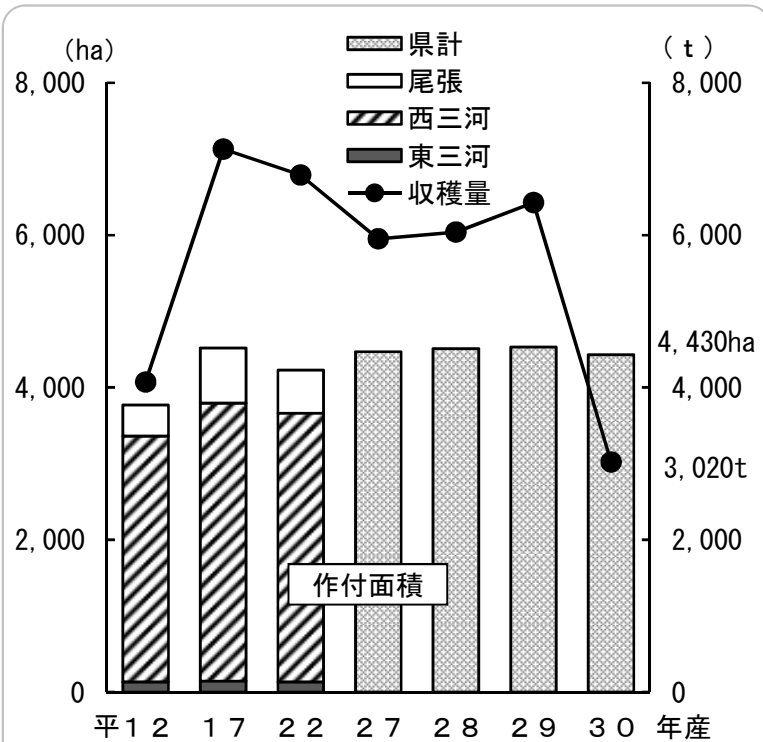
国内産麦の価格は外国産麦の価格の影響を受けるため、変動がある。

《麦類の市町村別収穫量》



《大豆作付面積と収穫量の推移》

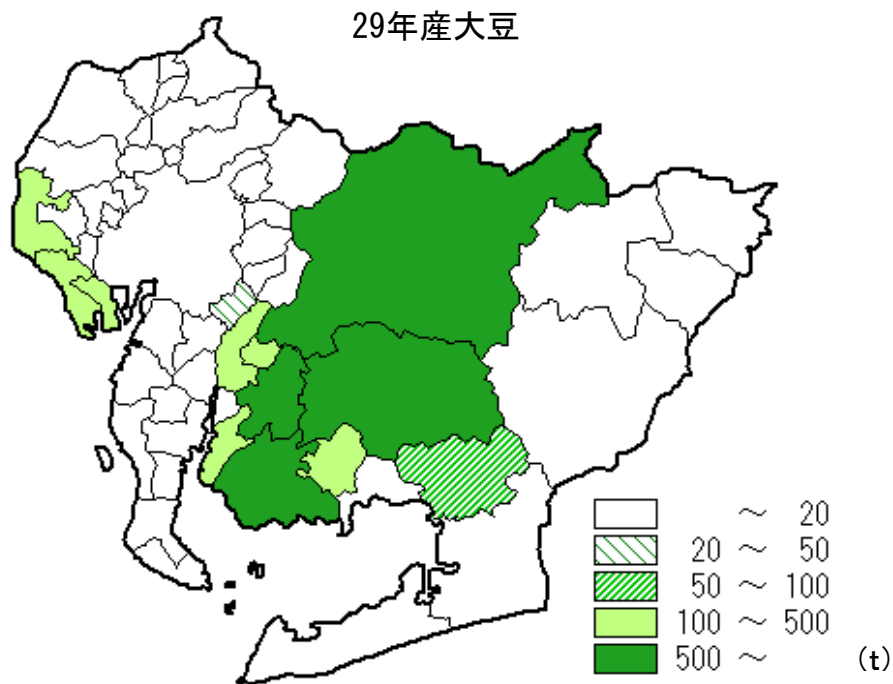
《大豆産出額の推移》



(出典：作物統計)
 近年の作付面積は4,500ha前後。
 作柄の変動が激しく、特に平成30年産はかつてない不作となった。
 栽培されている品種はすべて「フクユタカ」。

(出典：生産農業所得統計)
 作柄の変動が激しいため、価格の変動も激しい。
 ただし、愛知県産「フクユタカ」の価格は全国平均と比較して高い傾向にある。

《大豆の市町村別収穫量》



(出典：作物統計)
 大豆は西尾市、安城市、岡崎市、豊田市などの西三河地域、弥富市などで主に生産されている。